持続可能な未来への
まちづくりを実現

NISEKO

WEBSITE

民間と行政が共につくる
まちづくりを目指して

持続可能な街をつくるという私たちの夢が、現在、北海道のニセコ町でスタートしています。国は、これからの自治体のモデルとなる「SDGs未来都市構想」を掲げており、その選定初年度だった2018年度、ニセコ町を含む全国29の自治体が未来都市として選定されました。さらに、ニセコ町が提案した新事業「NISEKO生活・モデル地区構築事業」は、市街地にSDGsの理念を踏まえた新たな生活空間「ニセコミライ」を形成するというもので、同じく2018年度に国の支援事業に認定されています。この「NISEKO生活・モデル地区構築事業」を提案し推進する会社こそが、官民連携のまちづくり会社である株式会社ニセコまち。私たちウェルネストホームは高性能集合住宅のプロデュースやアドバイスを行っています。「ニセコミライ」はこの街区の名称で、一般公募で寄せられた地元住民の案が採用されました。

GOALS　ニセコで実現すること

1 超省エネ

建築物は全て、国内最高水準の断熱性能です。住宅の壁、床、天井、窓、ドアから外部へ逃げる熱量を外皮全体で平均した数値、UA値は、0.25W/㎡K以下を目指します。

2 CO_2合計80%削減

躯体だけで50%のCO_2を削減しつつ、太陽光発電システム、蓄電池、コージェネレーションシステム、将来的には水素なども利用して、一般的な住宅と比較し合計で80%のCO_2を削減します。

3 交通

街区内で、太陽光発電によるEV車のモビリティサービスを提供。居住者同士がシェアできる仕組みや、デマンドタクシーの導入により、移動にかかるエネルギーの削減にも取り組みます。

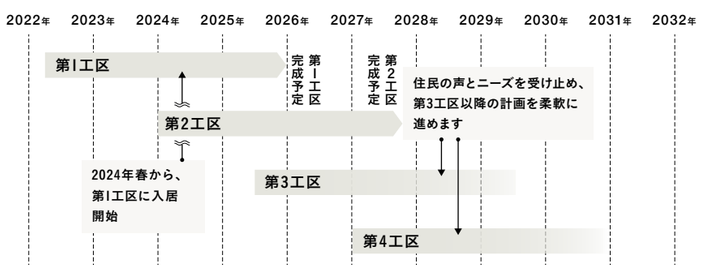
4 シェア

DIY工具、農作業道具、庭管理道具などをシェアして利用できる仕組みを構築します。住民交流型のシェアリングエコノミーにより、住民の経済的負担を削減します。

OVERVIEW

ニセコ町で進む
新しい街区の概要

ニセコ町の市街地に隣接する9ヘクタールの敷地で、最大で450人が暮らす新しい街区「ニセコミライ」を建設しています。第1工区から第4工区の4つの区画からなり、ニセコ町の長年の地域課題である住宅不足、産業を支える人手不足を解消し、地域内の経済循環を強化しながら、気候変動に対応するための省エネ、再エネを促進していきます。



第1工区
分譲・賃貸集合住宅からなる。建物は高効率な設計で光熱費を抑え、除雪や敷地の管理は共同で行うことで、暮らしやすい生活環境を提供。

第2工区
冬でも暖かくて快適な賃貸住宅とシェアハウス、エネルギーセンター、アトリエ、ランドリーカフェといったコミュニティの中心地。

第3工区
まちの需要に応じて賃貸住宅や分譲マンションを計画。街区の特徴である広大な中央広場や雑木林といった緑のインフラが充実。

第4工区
川のせせらぎと白樺の木々に囲まれた自然豊かなエリア。ゆったりとした広めの分譲集合住宅を建設予定。

PARTNERSHIP　包括連携協定の締結

ウェルネストホームは、2020年11月25日、ニセコ町の官民連携のまちづくり会社、株式会社ニセコまちと包括連携協定を締結しました。北海道ニセコ町でのSDGsまちづくり事業において、ウェルネストホームが、街区設計・コンセプトおよび建築設計・施工等の専門的知見を共有しながら、理想のまちづくりの実現に寄与することで合意。現在は、ニセコ町の新しい街区「ニセコミライ」で、ウェルネストホームの技術を生かした高性能集合住宅などを建築中です。2023年、ウェルネストホームは株式会社ニセコまちの出資者となり、まちづくり事業へのさらなる加速をはかっています。

ニセコミライで生まれる
パートナーシップ

ほくでん　AsahiKASEI 旭化成ホームズ　waiwai

ニセコ町の地域課題に向き合いながら、世界で通用するコンセプト、技術、ノウハウなどの実現に向け、国内優良企業との連携を進めています。エネルギーの効率的利用と脱炭素化を担う北海道電力株式会社とは、柔軟性の高いエネルギーネットワーク構築に向けた検討を行っています。持続可能な400戸の高性能住宅の建設は旭化成ホームズ株式会社と、そして街区設計を担当するwaiwai合同会社一級建築士事務所とパートナーシップを構築し、前例のないまちづくりに挑戦中です。